

電子入札システムにおける 電子くじの決定方法

① 業者名	② 金額	③ くじ用数値 (入力値)	④ 入札秒	⑤ くじ値	⑥ 入札順	⑦ くじ順	⑧ 入札日時 (時:分:秒:ミリ秒)
A工業(株)	¥252,375,000	420	4	424	1	1	2007/8/1 9:44:04:033
(株)B建設	¥252,375,000	720	5	725	2	3	2007/8/2 9:54:05:677
C土木(株)	¥252,375,000	069	50	119	3	2	2007/8/2 10:26:50:486

①から⑧の各項目について

- ①業者名とは、当該物件にかかる入札参加業者のうち電子くじ参加業者名。
- ②金額とは、入札参加業者の入札金額。
- ③くじ用数値(入力値)とは、入札参加業者が入札書送信の際に必ず入力しなければならない任意の3ケタの数字。
- ④入札秒とは、入札参加業者の入札書が本市のサーバーに到達した秒。(日付、時間、分、ミリ秒は関係なし。)
- ⑤くじ値とは、③くじ用数値(入力値)と④入札秒と合算した数字。但し、有効数字は3ケタであり、4ケタになる場合は下3ケタが有効となる。(例:③999④59の場合、合算の数字は1058となり、下3ケタが有効なことから、くじ値は058となる。)
- ⑥入札順とは、くじ対象者である入札参加業者の入札書が本市のサーバーに到達した順番。
- ⑦くじ順とは、電子くじ(※方法は後に記載)により決定された順番。なお、くじ順1の業者を落札候補者とし、その者が落札者として認められない場合は、くじ順2の者とする。
- ⑧入札日時(時:分:秒:ミリ秒)とは、入札参加業者の入札書が本市サーバーに到達した時間、分、秒、ミリ秒。(ミリ秒は⑥入札順を判断するためのもの。)

くじの決定方法について

まず、くじ対象者である入札参加業者の③くじ用数値(入力値)と④入札秒を合算し、⑤くじ値を算出する。

A工業(株)は $420+4=$ 「424」 (株)B建設は $720+5=$ 「725」 C土木(株)は $069+50=$ 「119」 となる。

くじ対象者である全入札参加業者の⑤くじ値を合算する。

$424+725+119=$ 「1268」となる。

合算されたくじ値「1268」をくじ対象者である入札参加者数「3」者で割り戻し、余りを算出する。

$1268 \div 3 = 422$ 余り「2」となる。

くじ対象者である入札参加者数「3」から、先の余り「2」を引き戻す。

$3-2=$ 「1」となる。

余りを引き戻した数「1」と⑥入札順が一致した業者が落札候補者となる。よって、表において落札候補者は⑦入札順が「1」であるA工業(株)が落札候補者となる。

なお、くじ順の2以下を決定する方法は、決定した者(A工業(株))を除き、同様に導き出す。

くじ値の合算 $725+119=844$ 割り戻して余りの算出 $844 \div 2=422$ 余り0

くじ対象者数から余りを引く $2-0=2$ 入札順2、3はくじ順1の業者を除くため1、2と繰り上がる。

くじ対象者数から余りを引いた2と入札順2が一致するC土木(株)がくじ順2となる。